

自分たちのまちは
自分たちで守る

特集

あなたのそばに

消防団



皆さんは「消防団」を知っていますか？消防団は地域住民が団員として所属し、消防署と連携・協力して消防活動を行う消防機関です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと、それぞれの地域に密着して活動しています。火災や大規模災害など、有事の際には要請に基づいて出動し、消火活動や災害防御活動を行います。特に火災現場では、いかに早く活動を開始できるかが重要です。消防隊が到着するまでに、近くの消防団がいち早く駆けつけ活動を開始し、被害を最小限に食い止めます。

こうした活動から、消防団は地域防災のリーダーと言える存在であり、消防署と地域を結ぶ『要』として重要な役割を果たしています。

地域防災の要

身近な頼れる消防団

消防団には市内に4つの支団、10の分団があり、そこに合計314人の団員が所属しています。(※)団員の職業は会社員や主婦、自営業、さらには学生など十人十色。本業のかわら、訓練や研修を重ね、いざという時は現場へ出動し、地域の安全と安心を守っています。また、女性消防団員は、心肺蘇生法の習得や災害時の避難方法の指導といった、防火防災の啓発・広報活動を主にを行っています。

あなたのそばでも、消防団は活動しています。もしもの時も、身近な頼れる存在がいることで安心できるもの。地域で活躍する消防団に目を向けてみませんか？

※令和7年12月1日時点



令和
8年

新年のごあいさつ

さらなる飛躍の1年に

久喜市長 梅田 修一



市民の皆さまにおかれましては、希望に輝く新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、本市が合併して15周年を迎え、これを記念した地域活性化のためのさまざまな事業が行われました。これまでの市民の皆さまの深い郷土愛、そしてたゆまぬ努力と研さんによって、今日の本市の発展があります。ご尽力いただきましたすべての皆さまに、あらためて深く感謝申し上げます。

本市は、豊かな自然と便利な都市機能が調和したゆとりある街並みを有しております。こうした強みを最大限に活かし、子育てしやすい環境づくり、教育環境の充実、脱炭素化のまちづくりなど、誰もが住みやすく暮らしやすいまちの実現に向けて取り組んでまいりました。

そして本年は、本市初となる義務教育学校として、鷺宮西小中学校が開校します。小学校と中学校の学びを一体的につなぐことで、学びの可能性がさらに広がるものと期待しております。また、新しいごみ処理施設も順調に整備が進んでおり、年末には試運転を行うとともに、市民の皆さまにとって分かりやすく、負担の少ないごみ分別区分への変更を予定しております。

これからも、久喜市のさらなる飛躍のために、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

笑顔と健康を未来へ

久喜市議会議員 上條 哲弘



市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表して、謹んでごあいさつを申し上げます。

「健康・スポーツ都市」宣言をしております久喜市は、今年も「よるこびのまち久喜マラソン大会」をはじめとして、年間を通してさまざまなスポーツイベントが開催されます。

市民の皆さまも、スポーツやレクリエーションに親しみ、毎日を笑顔と健康で過ごしてみたいかがでしょうか。

本年11月には、「ねんりんピック彩の国さいたま2026」が埼玉県で開催され、久喜市はレクリエーションダンスの会場となります。全国から多くの皆さまをお迎えすることになりますので、大会を通じて、本市の温かいおもてなしの心で、参加される方々に笑顔の花が咲くことを期待しております。

私たち市議会も、誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくりの実現に向け努力してまいりますので、引き続き、皆さまの格段のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。